

岐阜市教育大綱の一部改定について

令和8年7月27日 教育政策課

1 岐阜市教育大綱について

教育大綱

教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として**地方公共団体の長**が策定
策定・変更前に**総合教育会議**で協議することが規定されており、**国の教育振興基本計画**における
基本的な方針を参酌して定めることとされている（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3より）

▶ **義務教育だけでなく総合的な教育、子どもだけでなく大人を含めた市民全体を対象**



現行の岐阜市教育大綱

- 令和元年7月 いじめ重大事態
- 令和元年～2年 岐阜市公教育検討会議
- 令和2年 岐阜市教育大綱改定

本市教育のあるべき姿を議論

- ・ いじめ重大事態を受け、本市教育の根本を見直し
- ・ 不登校数の増加、自己肯定感の低さなどの課題をふまえて、自由の相互承認の感度を高めることを軸とした方向性が示された

基本方針

学校・家庭・地域の誰もが**生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する**

2 改定に向けた論点



基本方針

改定以降、本市教育の揺るぎない軸として位置付け

R2以降



基本方針を軸とした施策展開と知見の蓄積により一定の成果をあげてきた



社会・教育環境
の変化の加速



子ども・学校・教職員・家庭・地域を取り巻く環境の変化

生成AIの急速
な発展・普及

働き方の変化

価値観の多様化

現在・これから



基本方針を不変の軸とした目指す教育の実現に向けた見直し

これまでの実践の
継続・深化

教育観のアップデート

社会の変化を踏まえた
施策の検討・展開

改定の方角性

基本方針を不変の軸としながら、社会の変化を見据え、実現の方策や表現を整理することで、本市の幼稚園から大学のほか、市民全体を対象とした総合的な教育における一貫した方針を改めて示し、目指す教育を推進する

2 改定に向けた論点

時代背景



AIの急速な発展・普及



出生数10年連続過去最少



働き方、生き方、価値観の多様化

課題の複雑化



第4期教育振興基本計画（R5～9）のコンセプト

持続可能な社会の担い手の育成

- ・将来の予測が困難な時代において、自らが社会の担い手となり持続可能な社会を維持、発展
- ・Society5.0における創造力、課題発見、解決力

日本社会に根差したウェルビーイングの向上

- ・多様な個人、地域や社会が幸せや豊かさを感じられる教育
- ・学校や地域でのつながり、自己肯定感

次期学習指導要領の基本的な考え方（R7論点整理）

自らの人生を舵取りできる民主的で持続可能な社会の創り手の育成

主体的・対話的で深い学びの実装



- ・授業改善を通じた資質能力の育成

多様性の包摂



- ・子どもの多様性を包摂し個性が輝く教育を実現

実現可能性の確保



- ・教師と子ども双方に余白を創出し豊かな学びへ

国が重視していること

自ら考え、判断し行動する力

他者と関わり協働する力

多様な個人の包摂

探究・情報活用能力

地域・家庭で共に学び支え合う

実現可能性・余白の確保

アントレプレナーシップ

コミュニティ・スクール

教育DX・柔軟な教育課程



不変の土台



人格の完成

社会の形成者の育成

個人の価値の尊重

学校・家庭・地域の連携

2 改定に向けた論点

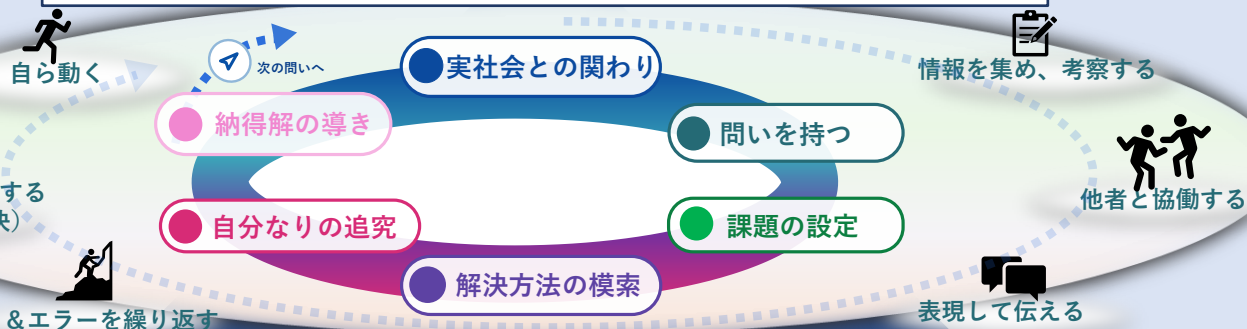
今後本市が重視すべき内容

育むべき力

人生を舵取りする力

自ら問いを立て、考え、多様な他者と協働しながら行動し、よりよい未来を拓く

失敗を恐れず、周囲と関わりながら自分なりの正解を生み出す



自由の相互承認

学校・教職員

子ども

家庭

地域

大綱へ補足していくべき視点 (案)

(案)

子ども

失敗を恐れず一歩踏み出す精神
自分なりの納得解や
新たな価値をつくり出す学び

学校・教職員

正解のない課題に向き合う
学びの設計
学びのパートナーとしての役割

家庭・地域

—

(参考)
現大綱

子ども

自己を認識し、
自らの選択と行動によって
幸せな未来をつくり出す

学校・教職員

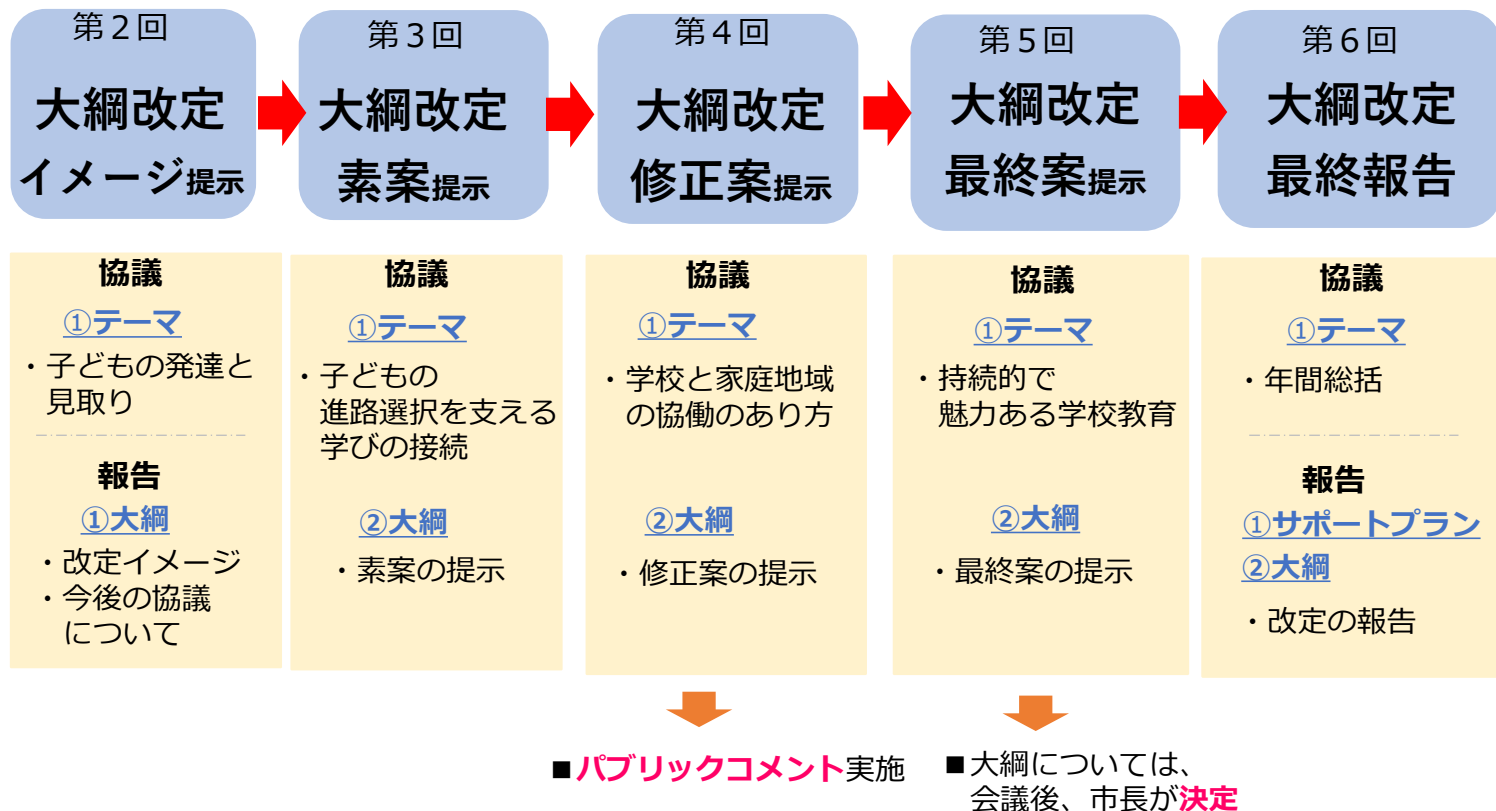
高い専門性を発揮し、チームとして
子供と向き合いあたたかい対話と
空間のあるチャレンジできる学校

家庭・地域

多様な地域資源を活かし、ともに学び、語り、
支え合う

3 総合教育会議における協議について

次回以降会議の流れ



3 総合教育会議における協議について

参考：会議日程

回	開催日	協議事項	招聘者
1	5/29(金) 学校指導課	探究を通じた新たな価値を創造する学びの実践 義務教育学校の取組からみえる探究の在り方について	榊原 健太郎 氏 (株)サムライインキュベート 代表取締役
2	7/27(月) 学校指導課	子どもの発達と見取り 特別支援教育における学びの保障について	原 広治 氏 島根大学 名誉教授
3	8/28(金) 教育政策課 (幼児教育課、学校指導課、 市岐商、企画部)	子どもの進路選択を支える学びの接続 幼稚園から大学までを見通した教育環境について	調整中
4	10/23(金) 学校指導課 (社会青少年教育課)	学校と家庭・地域の協働の在り方 地域資源を活用した連携について	
5	12/18(金) 教育政策課	持続的で魅力ある学校教育 多様な学びを生み出すための適正規模・適正配置の考え方について	
6	1/26(火) 学校指導課 教育政策課	教職員サポートプラン2026実施状況報告 年間総括(協議振り返り、協議成果)	